

月刊 モンキー!



コモンマーモセット

レッドリスト：LC(低危急種)
ワシントン条約：付属書Ⅱ
分布：ブラジル東部

英名 Common Marmoset 学名 *Callithrix jacchus* 霊長目マーモセット科

今月のピックアップモンキー

動物園版

10
2016

毎月10日発行



ワタボウシパンシェ

レッドリスト：CR(絶滅危惧ⅠA類)
ワシントン条約：付属書Ⅰ
分布：コロンビアからパナマにかけて

英名 Cotton-top Tamarin 学名 *Saguinus oedipus* 霊長目マーモセット科

☆ここに注目☆

ちっちゃいけれど
サルですよ！

コモンマーモセットとワタボウシパンシェは「サルの楽園」で暮らし、ガラス越しに観ることができます。

よく聞かれるのが「ちっちゃい！この動物なにに？」という言葉。私たち日本人にとって身近なサルといえばニホンザル。イメージと違うことや知名度が低いせいかサルと分かってもらえないこともあります...

またコモンマーモセットは大人でも体重約400g、ワタボウシパンシェも約500gしかなくとても小さな体をしています。下の写真は生まれて間もない時ですが、人の指と比べるとその小ささが分かりますよね。

小さくたってイメージと違ってても立派なサルの仲間！この機会にぜひ覚えて下さい！！



くらべてみよう！！

白いフワフワはいつからあるの？

コモンマーモセット

特徴といえば耳の房毛！

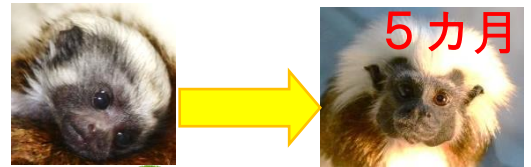
でも生まれてすぐは目立っていません。約3カ月で徐々に伸び始め、約半年で大人のように立派になります！



ワタボウシパンシェ

特徴といえば頭の房毛！

でもこちらも生まれてすぐ頭に白い毛は生えていますが短いま。徐々に伸び始め3カ月でツンツン立ち上がったようになり5カ月もたつと大人と同じように立派になります！



イクメンザルって言われてるんです？！

この2種類の特徴は子育て！父親が育児にとっても協力的な「イクメンザル」なのです！！

人の場合、子供のおむつを変えてお風呂にいれるのが父親でも珍しくはありませんよね？でも哺乳類の中で母親以外が育児に参加するのは実は10%もいないと言われており、とても珍しいことなんです。

父親は授乳の時以外ほぼ赤ちゃんを背負っています。これは母親が育児をさぼっている、というわけではありません。ではなぜなのか？それは妊娠のメカニズムにあります。

妊娠期間は約150日。ほとんどの場合双子を生みます。母親は出産後約1週間で発情が回帰し、次の子供を妊娠します。つまり双子を育て授乳しながらお腹には次の子供がいる状態となり、母親の負担はとても大きいものとなります。そこで少しでも負担を減らすために父親やお姉ちゃん、お兄ちゃんも育児に参加することなのです！

双子を背負うお父さん



好きな食べ物は意外にも...

小さくてかわいい顔をしています、一番好きな食べ物はバナナなどの果物ではなく虫！バッタやコオロギ、ミルワームなどが大好物です♪ただ毎日ではあげられないため、鶏頭（字のごとくニワトリの頭）やゆで卵などをタンパク源として代わりにあげています。

飼育員の一言

ワタボウシパンシェは生息地の破壊が進み生息数が6000頭と推定され絶滅寸前です。動物園には種の保存という役割があり、危機的な動物たちの命を未来につなげていく場でもあります。ちょっと地味かもしれませんがぜひ注目してみてください。

サル類色々担当

